

第4号 商工女性

あきた

秋田県商工会議所女性会連合会

女性会報

発行所

秋田市旭北錦町1-47

秋田県商工会議所女性会連合会

TEL 018-866-6677

編集発行人 船木孝子



今大切な日本精神と

“らしさ”

秋田県商工会議所女性会連合会

会長 船木孝子

“冬来りなば春遠からじ”
とは云っても豪雪地域の春は遠く大変です。でも立春を過ぎると一日毎に空も春モードに切り替わる感覚に喜びを感じます。

日本は戦後六十年の還暦を迎えて政治経済教育環境など改革が唱えられております。終戦後の苦難を乗り越え一九七〇年から八〇年代は好景気に湧き自由と平和の生活に浮かれています間にバブルは倒壊し気付いてみると不況の嵐。日本人の何より大切にしていた信頼感やモラルも崩壊して巧妙悪質な犯罪国の異常社会です。外国での出来事と思っていたのが日本での“まさか”の事件が毎日有る状態です。そして子供の学力低下も問題です。学力より心の教育が大切として始まった『ゆとり学習』の見直しも検討され早く道筋を示して欲しいものです。この頃“らしく”が話題になります。女らしく嫁らしくが論じられたのは別の話として今は環境問題から考えてみ

ます。冬は冬らしく寒くて雪も降り地域の生活文化の冬の楽しみ、行事の継承に携わり夏は夏らしく汗を流し自然と触れ合い人間本来の姿で生活しましょうとの意見です。豊かで自由な生活に慣れ消費大国となった日本では本場に難しいことです。でも森羅万象は人間の思うように作動してくれません。そして記録破りの災害が発生しております。『第36回全商女性連東京総会』の席上、大館女性会推薦の『陽気な母さんの店』の起業家、田山雪江さんが全国女性会最優秀賞を授賞され秋田県を全国にアピールして、米作りだけでなく畑作農業と営業力も有る健在感を示して下さい県代表出席者も誇らしいひと時でした。

そして秋田県女性会としても独自の表彰制を事業として組み入れ新年会時の授賞式へと運んだ事は意義深く来年度へ継続して欲しいものです。さて、その女性起業家大賞のキーワードは「感動と変革へ

の挑戦」です。そして細かい項目の事業展開、創意工夫、取り組みの欄に“女らしさ”が入っているのです。昔の話と嫌われ言葉が今だから必要なのだそうです。女性経営者ならではの発想と気配りある運営で活力を得ようと言うことでしょう。東京総会後の記念座談会は著名の四氏により大会場は熱き女性で満席ムン。壇上席のお二人の男性は押され気味でしたが少ないスペースに要約して紹介いたします。

コーディネーター

野中ともよ氏

(ジャーナリスト)

パネリスト

池田守男氏

(東商副会頭・資生堂社長)

金 美齡氏

(評論家)

コメンテーター

山口信夫氏

(日商会頭・旭化成(株)社長)

池田氏「日本人の心は「まほろば」(縄文時代)の心であり道徳心感謝の心である。その後の時代の佛教の慈悲の心が日本の心の根本である。次世代に伝えるために我々は今後何をすべきか。接ぎ木を例に取り台木の見定め、合せ方、植木時の難しさ、実を結ぶまでの努力と愛情、広い心と勤勉さの必要など。今は日本武

士道精神を如何に接木するか大切な時である」

金氏「現在も台湾国策顧問、一九五九年来日早稲田大学卒業博士課程修了後英語講師。戦前五十年日本の植民地だった台湾が向学心と日本精神などにより今も支えられていること、今の日本で失われている約束、信用事は台湾は残っているのだから継承しなければいけない。『日本精神はブランド物だ』」

山口氏「今度生まれる時も男でありたい。進化した現在も日本精神は伝えていくべきであること。また見直しの必要な天皇制度のことなど。」

野中氏「人間としての働き甲斐、生き甲斐を自分で求めること。日本の光と陰を感じ取り政界も経済界も個人的にももっと世界にアピールを次世代に何を創り今何を成すべきかを改めて考える事等々。」

四氏とも女らしきの言葉は使用されませんが日本精神の中心、内容は、“女らしく”が充満していると私は思います。でも素直に受取り「男女共同参画社会」の小波が大きな波長に育ちつつある過程としてひとり一人が学びの心でそして女性会も共に成長し発展して行きたいものと願っております。

参加して

小泉会長 お疲れさまでした

七月九日福島市

力がある。韓国では子供も好

(境田幸子)

の賑やかな花火音頭に続き最

(境田幸子)

ことしも女性のパワーを感じます！



「ジョヤサ」

秋田市建都四百年プレイベント久保田城まつり『ジョヤサ』が新設された秋田市拠点センター「アルヴェ」で開催され昨年度に引き続き、当女性会コーナーを設け、お茶席(抹茶とお菓子)と工芸小物販売をいたしました。

佐竹市長様はじめ金田参議院議員御夫妻にもお出でいただき、二日間で二百名程の御利用を頂き、一時日本の伝統文化に親しんでいただきました。お茶を召しあげていただいた皆様は「とても美味しいですよ」と言葉をかけて頂き幸せな気分になりました。

(西村悠子)



笑顔で受付やってま〜す

経営講習会 (6月)



県内女性会より五十六名の参加により開催されました。(同定時総会開催) 船木会長から「国内の景気は立ち

直ってきたが秋田は元気がない。今年度は県女性連が一丸となり活性化に結びつく事業を企画すべきである。」また、今年度より事業を成功させている女性起業家を支援するた

経営講習会 (3月)

元生涯学習センター所長



大友康二氏

人間が生き抜くために必要なもの、人間であるがゆえに背負うもの、それが運

縁、恩。その中でも縁は奥深く、縁を大事にすることは自分の人生を大事にすること。また現在では人生の悩みを相談する場、経験を伝承する場がなく、個人で知識を詰め込み実践の教えが不足しているため道を踏み外しても気がつかないという最悪な事態を招いている。高齢者も若者を非難するだけでなく伝承の使命感

め女性起業家大賞を実施し更に条件を満たす人については全国へ推薦することとしました。単会発表の後、日本マネ

ジメント協会の田中路子氏による講演会を開催。終了後は来賓に知事夫人をお招きし懇親会を開催



浅野梅若社中によるアトラクションなどで参加者を魅了した。

(菅原朋子)

を持つべき。人への気配りや優しさは家庭から季節行事がなくなっている事も関係している。学力も大事だが困難なときに立ち向かえる力をつけることが自分のやる気にもつながる。溢れる探究心と強い信念をお持ちの太友様から、暖かい心を感じさせて頂いた貴重な時間でした。終了後は「ロックンボウル」へ視察見

学、社長から事業展開についてのお話を伺ってからボウリングで心地よい汗を流しました。

【一位は横手の堀内洋子さん】



福井豪雨！新潟中越地震！

二〇〇四年は地球規模で自然災害が猛威を振るった年でした。日本列島全体も大規模な災害に巻き込まれ死者行方不明者は全国で二七二人に達し負傷者は五千人を超えました。私達女性会は被災地の皆様に少しでも生活再建のお役に立てればと七月の福井豪雨、十月の中越地震で最も被害の大きかった小千谷市に対し、会員のご協力のもと義援金を送らせて頂きました。今後は、応急的な救援局面から復旧、復興へと継ぎ目無しに息の長い多様な支援を続けていく事も大切な事だと思えます。被災された皆様には今後一日も早く元の生活を取り戻す事が出来ますよう心から願っております。(黒坂彩子)

中学生職場体験を実施

八月二十二日から三日間、女性会会員事業所において中学生の職場体験を実施した。これは児童養護施設「感恩講」の中三生を対象にしたもので、受入事業所は(株)境田商事と(有)三太、従業員と共にタイムカードと朝礼から始まり、掃除、包装、値付け、箱詰め、接客、またお膳準備、片付け、配達に至るあらゆる通常業務を問題なくこなし、仕事振りも大変真面目で素直、積極的なお客様への声かけなど感心な部分が目立ったとの報告であった。これから社会に飛び立とうとする子供たちにとって今後一層厳しい時代が待ち受けている。そんな子供たちに少しでも社会体験の場を与え、何かを感じてもらえたら、今年もやります！(大野節子)



『女性会のしおり』が出来上がりました

女性会に入会して友情と信頼の輪を拡げてみませんか？ 私たち女性会はますますパワーアップしていきます!!



十六年度事業紹介

- (1) 通常総会
平成16年5月20日(木)
平成16年7月23日(金)
- (2) 第10回たんせ市で「チャリ
ティーフリーマーケット」を
出店
平成16年6月19日(土)
- (3) 第33回鉦打沢川クリーンアッ
プに参加
平成16年7月4日(日)
- (4) フラダンス・踊り練習会
平成16年7月17日(土)
- (5) 「あたご荘」「サングリーン
ゆざわ」の夕涼み会でフラ



▲通常総会で記念撮影

ダンス披露

- 平成16年7月23日(金)
- (6) 救急救命講習会
平成16年9月27日(月)
- (7) 芋の子汁会(視察研修)
平成16年10月18日(月)
- (8) 健康講座
平成16年11月1日(月)
- (9) 雄勝地区商工会女性部交
流会
平成16年11月5日(金)
- (10) 新年祝賀会
平成17年1月19日(水)
- (11) 大つこまつり「そばコーナー」
を出店
平成17年2月12日(土)
- (12) 大つこまつり反省会
平成17年2月25日(金)

第十回たんせ市 フリーマーケットを出店

来てたんせ・見てたんせ・
遊んでたんせと言うことで年
二回中心市街地で「たんせ市」
が開催されます。

六月十九日は北上市から鬼
剣舞も参加され、勇壮・華麗
に舞う姿は国指定重要無形民
俗文化財の重圧さを感じまし
た。

又、秋田県警察音楽隊のマー
チングは雰囲気が変わり爽や
かで、すがすがしい気分にし
てくれました。閉会まで群集



がとぎれることなく楽しんで
いただけたようです。

私達女性会も会員が家から
品物を持ち寄り「フリーマー
ケット」を出店し八四点出品、
売上二万八千五百二十円で、
一部を新潟・福島・福井三県
の豪雨災害へ義援金として寄
付しました。(石川美喜)

芋の子汁会

恒例の芋の子汁会親睦会を
十月十八日に行いましたが、
好天に恵まれ、参加者一同楽
しい一日を過ごす事が出来ま
した。

最初に、今年開業が予定さ
れている建設中の雄勝中央病
院を見学しました。市街地か
らは随分遠いという事を実感
しました。その後、市内が一



▲世界ダリア園を見学

望出来る湯
沢城址に登
り自然を満
喫する事が
出来ました。
次に満開の
世界ダリア
園を見学し、
お腹具合も
良くなった
ところで千
寿苑さんで
食事会をしました。
湯沢城址には、湯沢が生ん
だ歌人、帯屋久太郎氏の「ふ
るさとを愛するものはふるさ
との土になれる」と啼く閑古鳥
の歌碑が建っており、
地元に残りたい、帰りたいと
思ってもその受け皿がないの
ではないでしょうか。地元
にいる人達がその受け皿を造る
のが使命ではないかと考えさ
せられた一日でもありました。
(蛭田成子)



▲湯沢城址を散策

六部会交流会に 参加して

秋も深まった十一月五日、
秋ノ宮温泉郷稲住温泉にて六
部会が開催され、沢山の参加
者が集い活気に満ちた部会で
した。



▲佐藤先生の講演会

佐藤先生による商店主や店
員さん達の接客マナーについ
ての講演では、何気ない言葉
遣い、笑顔、お客様に対して
決してこびる事なく、心から
自然体に出てくる接客マナー
こそ、最も大事だという事に
気付かされました。

講演終了後は、大広間にて
親睦会が和気藹々の中行われ、
各部会の唄あり、踊りありの
楽しいひと時を過ごす事がで
き、とても有意義な一日でし
た。
(近藤洋子)

能代だより

「元気に男女共生」

新春講演会



今年の女性会は、秋田大学教育文化学部、教科教育学科、澤井セイ子氏による新春講演会(1月25日開催)でスタートしました。

「明日も元気に男女共生」と題して、男女共同参画社会に



澤井教授による講演会

「男女共同参画社会は、男も女も自立している社会、男だから女だからというのではなく、個人が楽しく

生きていて良かったと思える社会、元気に生きられる社会、すなわち個人が重要視される社会である。私はどうしたいか、個人はどうしたいのかを明確にしていける方が元氣よく活力あつて生きていける社会である」など、男女共同参画について漠然とした考えしかなかった私には、先生の元氣でパワー溢れるお話に些か刺激を受けました。

男とか女とかにこだわらず、他人を思いやり自分らしくこの社会を生きて行こうと思えます。これから一年、女性会の更なる着実な発展を願ひ、会員の皆様のご尽力を戴きながら、微力ながら務めてまいります。

本年もどうぞよろしく願ひたいします。

(会長 宮腰章子)

レクリエーション
弘前・藤田記念庭園と
翠明荘

平成十六年六月十日(木)一行十二名マイクロバスで午前九時商工会議所を出発しました。藤田記念庭園は弘前出身の藤田謙一氏が、大正八年に江戸風な庭園を造り弘前市政施行百年記念事業として平成三年七月に開園しました。

藤田謙一氏は明治二十四年に上京し実業家として貴族院議員、東京商工会議所会頭を経て、昭和三年日本商工会議所初代会頭に就任、日本屈指の財界人として活躍したお方です。

藤田記念庭園は総面積約六千六百坪で大規模な庭園です。庭園は高台部と低地部に分かれて、高台は岩木山を眺望でき、洋館・日本間・考古館が

建っており建物の中を見学できます。洋館・日本間・考古館には各々国定登録有形文化財の立派な品々が置かれております。お庭にはさつき・ツツジのお花、滝、また樹木など歩きながら楽しむことができます。

次に五分位バスで昼食会場の翠明荘に着きました。

明治二十八年建築の建物です。内装がまた見事で屋久杉の一枚板天井で見事な家屋でした。若い綺麗な女将さんや若い仲居さん三・四人で接待してくれ、どれも美味しい懐石料理をご馳走になりました。

最後に干菓子とお薄が運ばれ、皆さんお茶のお作法で飲ませて頂き気分さわやかでした。バスの運転手さんの推薦で五重塔、リンゴ公園に行きました。



藤田記念庭園洋館内喫茶室にて



翠明荘にて

いしかわに寄り、皆なそれぞれ買物を楽しみました。能代には六時に到着して参加者もみんな和気藹々と、楽しいレクリエーションとなりました。

(大高ワカ子)

アロマテラピー講座

十一月十七日、以前からストレス解消に良いのではないかと関心を持っていたアロマテラピーの講習会(講師 山野愛子 どころ美容 工藤玲子 会員)が能代商工会館で開催されました。



講師の説明を熱心に聞く参加者

アロマテラピーは芳香療法を意味し「香り」で人間本来の持っている自然治癒力や免疫力を高めていくことができるため、美容や健康にとっても効果があるようです。

先生から薬用植物や果実から抽出した一〇〇パーセント天然のエッセンシャルオイルの特徴、有効性、安全性などの説明があり、実際に「アロマキャンドル」「ルームリフレッシュナー」「軟膏」をレシピを見ながら楽しく創作しました。今後、リラククス効果のあるオイル(ラベンダー・イラン・ローズウッド)を四く六滴くらい垂らして入浴する方法などを日常生活に取り入れていきたいと思っています。

(佐藤久栄)

女性会バザー

女性会バザーは毎年みなと祭りで開催されております(今年度は七月十八日開催)。

毎回準備作業の盛り上がりは活気で満ち溢れ、みなと祭りでの「パワーあふれるお店」は地域の皆様が毎年楽しみにしている一つでもあります。



バザー収益金 49,270円

収益金の一部は「新潟・福島豪雨及び福島中越地震」へ寄付させて頂きました。

今年もまた、地域の活性化は女性会からをモットーに開催していきます。(大高富子)

フラワーアレンジメント



お正月は職場・家庭の中にやすらぎをもたらしたことでしょ

昨年度大好評の「フラワーアレンジメント講習会」が十二月二十八日能代青色申告会女性部さん合同で、塚本則子さんを講師に「お正月のお花」という題材で開催されました。同じ材料を使用しているでも各自個性のすばらしい作品に仕上がりが、満足げな表情がとても印象的でした。(大高富子)

横手だより

会員による

講習会

女性会の会員の中にはさまざまな職種の人、技術をもった人がおります。横手女性会ではその技術をいかした講習会を実施し、会員の自己啓発に取り組んでおります。

平成十六年度は「介護人のための散髪講習会」と「着物の着付け講習会」を実施いたしました。

どちらも皆さんに喜んでいただける満足のいく講習会になりました。

「介護人のための

散髪講習会」を終えて

(山本眞喜子)

昨年は相次ぐ大型台風の上陸や新潟県中越地震、インドネシアスマトラ沖地震による大津波と災害の多い年でした。被害者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。今年は災いのない幸せな年を願ってやみません。

横手商工会議所女性会では、昨年7月6日南部男女参画センターにおいて「介護人のた

きもの着付け講習会

に参加して

(佐藤幸子)

「美しくなつてハイポーズ」女性会では初めての企画と聞いています。

ダンスの中で眠っているものを明るいところに出して、またあなた自身を引き立たせるために……

Fさんは何十年もの間、しつけをしたままの素敵なきものを持ってきて気付けをしていました。本当に素敵で、やはり日本人なんだなあ……と痛感しました。またOさんはお嫁



▲先生の手際の良さに関心／

おっくうになつてしまふこともありましたが、きものによつていつもと違う自分を発見できたりして楽しくなるのではないのでしょうか？

に来るときに持参したきもので、やさしい花模様の小紋を持ってきました。あまりに急いできて帯揚げを忘れてきてしまいました。またきものに巻いていたスカーフがきもの色合いと合っていましたので、帯揚げの代わりに締めたら一段ときものが映えたのを覚えています。きものを着るとなると、小物を揃えることや片付けが大変だったり、

参加者みなで持つてきたきもの思い出話をしながらきものを着たままで会食を楽しみ、また機会があれば着ることを約束して、家で待つているどんな様にも姿を見てもらうように、いそいそと家路に着きました。

きものは私たちの素晴らしい民族衣裳です。日本の女性だけが持つている最も幸せな衣服です。誇りに思い、これからもどんどん着ていきたいと思ひます。楽しい会を開いていただき誠にありがとうございました。

今年女性会三十周年です。会員全員で実のある年でありますように、協力して成功させていきましょう。

めの散髪講習会」を行いました。参加者の皆様には、実際にモデルさんを使った散髪の様子を見ていただきました。

高齢による病気や障害のために寝たきりになったり、外出が出来なくなった方はなかなか散髪に行くことが出来ません。そういった方に対して介護する方が自宅で出来る散髪の仕方ということで、高橋

会長さんから依頼を受けました。短い準備期間でしたが、よきモデルさんにも恵まれ、また女性会員の七尾先生のご

協力もあつてなんとか無事に進めることが出来ました。散髪のちよつとしたコツや介助技術のポイントを図にしたり資料を読んでもい

ただいたり、1時間があつという間に過ぎてしまひました。暑いさなかわざわざ足を運んでくださった皆様、どうもありがとうございました。何か一



▲なかなかむずかしそう／

つでも参考になつていただけたら嬉しく思います。介護する人以上に、介護される側もまた戸惑い苛立ちを感じているかもしれせん。その人らしい過ごし方を維持する為に、本人が出来ることを生かし足りない部分を補いながら、共倒れにならないようにしていく事が大事ではないでしょうか。私自身もそうありたいと願つて精進したいと思ひます。

フォト紹介

▼着付けが終わってハイポーズ



▲新年会でマツケンサンバ!!



▲おそろいのTシャツで(夏まつり)

大館だより

「寝たきり老人に
ならないために」

今、何をすべきか考える

本年度の事業計画で最近注目されている老人介護予防「寝たきり老人にならないために」をテーマに取り入れ、三回シリーズの講演会を実施しました。

第一回は秋田桂城短期大学の京野誠子助教授「健康とは日常生活に於いて」と題し食眠動のバランス、高齢社会における余暇社会の過ごし方、頭の体操(折紙、パズル、音楽に合せた指先の運動)の実施。

第二回は同短大の工藤久氏を講師に介護施設の見学、高齢者疑似体験(目耳手足同等に装具を着用し、高齢者の身体への負担を体験)

第三回、同短大の柴田博教授「リハビリテーション介護



▲介護用浴槽を見学中

について」と題して、自立支援型介護(自らの努力、家族介護)、あるがままの介護(病气等により介護が必要、介護者への負担軽減の取り組み方。家族の介護に携わる会員のリアルな体験談の他に、高齢者疑似体験の装具を着用した時には、予想以上の身体への負担にみんなが驚いておりました。健康で暮らす毎日に、努力が必要と身にしみて感じた講演会でした。講演終了後、当女性会小泉会長より全日程参加の会員に「うしたがつて寝たきり老人にならないでしよう」という修了証書が渡され太鼓判をおさめました。

(株)加藤組 加藤和子

新年会開催

去る一月十四日北秋くらぶにおいて新年会が開催されました。本年度新会員になられて、全国女性起業家大賞最優秀賞に輝いた陽気な母さんの店、会長田山雪江氏の講演で始まりしました。「何ができるのか」「何をしたいのか」目的を見失うことなく困難にも諦めず、クリアしながら、道を開いてきたことで成功に繋がったのだと感じました。戦略、戦術、戦力の大切さ、又、行動を起こさなければ目的を達

体験型ビジネスを学んで

去る十月二十二日大館市で開催された県女性連経営講習会は「陽気な母さんの店」田山雪江会長より地場産の販売や宅配、出張販売、地場産を使った食堂経営、多様な体験型のメニュー等、地域に根ざ



▲そば生地作りに悪戦苦闘!

した取り組みの講話に皆さんが感動しながら聞きました。

「中山そば打ち体験」では中山そばの会の石垣代表らが作り方の指導をしてくれました。のし棒で均等に丸くのばすのは至難な業で、皆さん一生懸命そば打ちに挑戦しておりました。

地場産の野菜販売では生産者の顔が見える形態とし、また企業とタイアップして付加価値をプラスすることで厳しい経済情勢の中でも、「産直」と「体験型交流」でお客様を呼び、地域に根ざした事業の展開を図って行くという事を伺い、大変参考になりました。(小池製パン(株) 小池和子)

最後に大文字おどりで会員の和と向上願って盛会裡に終了しました。

(ロイヤルホテル大館

兜森美佐子)



▲最後は大文字おどりで

小さな手で大きな優しい募金

悪夢の「阪神大震災」から十年目を迎えるようとしている矢先に、「新潟県中越地震」がこようとは誰が予想したでしょうか。その募金活動が去る十月三十一日「大館圏域産業祭」の会場で、青年部と合同で行

われました。大雨の中、産業祭に訪れた親子連れ。乳飲み子をおんぶした母親に、小学生、幼稚園児が両手でしっかりと引かれてきた。募金箱を見つけた時、この子供の手には百円玉が握られ、恥ずかしそうに募金箱の前に差し出した。その小さな手は、とても暖かく、大きく感じられた。母親の心の優しさが子供たちへ伝えられ、きっと新潟の子供たちへも伝えられると信じています。皆さん快く募金してください、短い時間で、十八万三千円の募金を日本赤十字



社新潟支部宛てへ送金することが出来ました。あの親子の様な心があれば・・・色々考えさせられる一日でした。

(有)アバフロリスト

野田節子

大曲だより

毎年8月の第4土曜日に開催される全国花火競技大会



第78回全国花火競技大会 過去最高の70万人の観客を動員(8月28日)



平成十六年度 事業紹介

○五月十八日(火)
通常総会 場所・鳥海町
フォレスト鳥海



全国商工会議所女性会連合会への加入が承認されました。

○七月四日(日)
丸子川クリーンアップ



早朝から花壇清掃
してくさまでした。



○七月十三日(火)
こもれびの杜
(特別養護老人ホーム) 訪問



会員さんから集めたタオル150本、プルタブ14kgを寄贈。

施設長さんより、3月にリニューアルした全室個室の住環境整備やサービス内容など説明していただきました。

○十月一日〜二日
研修旅行
行先・東京、鎌倉方面



一日目東京宝塚公演鑑賞。
二日目は鎌倉散策。

○十一月九日(火)
手踊り講習会
講師・小松歌子 先生



大曲ならではの手踊り「花火音頭」を教えていただきました。

○一月十四日(火)
新年会
場所・クリスタルサールカス
フォレスト



クラリネット演奏 安藤満里さん
ピアノ演奏 石川 操さん



ミニコンサート
一月十四日、クリスタルサールカスフォレストにおいて大曲商工会議所女性会新年会が29名参加のもと開催されました。今年のミニコンサートは角館町在住の安藤満里さんのクラリネット演奏。
季節がら雪の降る町、ペチカなど、親しみやすい曲が多く、会員もクラリネットを間近に暫し時を忘れ、クリスタル越しの雪景色はアンコール曲「冬のソナタ」のイメージピッタリ。外に見える夜間スキーのライトにもまた幻想的な世界へと誘われました。
懇親会では食品関連支部会で考案された試作漬物の試食のアンケートなど和気あいあいとは過ぎ、最後に会員一同で花火音頭(十一月の手踊り講習会のおさらい)を踊り盛会のうちにお開きとなりました。(杉田 承子)

幻想的な世界へ…

ミニコンサート新年会